

「寝屋定生の新型コロナウイルスに関する調査」

保健委員会の生徒たちが、明月祭の出し物で、本校の生徒を対象に「新型コロナウイルスに関する調査」を実施した。

HRの時間に短時間でできるものとして、簡単な質問事項等生徒の意見をまとめた。

6月に実施したものは、学校保健管理として全定で同じ内容のものを実施したが、今回は生徒の視点でより定時制生徒の状況を反映させたものになっている。

ただし、以下は学校保健の立場からのまとめである。

1 「新型コロナウイルスの影響で気持ちや生活にどのような変化を感じていますか？」

「マスクは周囲のためにも必要だと思っている生徒が8割近くいることに驚いた。登校時にはマスクを着用していなくても、校内では持参したマスクを着用している。毎日2～3名マスクを忘れたからと保健室に取りに来る生徒もいるが、最近は「協力ありがとう」と言って渡すようにしている。こちらから「次は持ってきてね」と言わなくても、自分から「次は持ってくるから」と言ってくれる。

マスク、手洗い石鹸、消毒液と生徒たちにとっては、経済的負担にもなっているのは確かだ。ゲームやスマホ、寝ている時間が増えた生徒は半数。家族以外の人と話すことが少なくなり、やる気が出なかったり、ストレスがたまっている生徒も半数近くいることがわかった。

さらに気持ちが落ち込んだり、孤独を感じているという生徒も2～3割いる。

家族との関係にストレスを感じるようになった生徒が2割近くいるが、もともと家族関係がよくない生徒にとってはさらに厳しい状況だろうと推察する。

登校時の手洗いはまたは手の消毒はしているのが半数くらいしかいないのが、学校側としては非常に残念だ。現在、事務室前、各職員室前、保健室前の4か所に手指消毒液を設置しているが、自主的にはなかなかしてくれないという実態がわかった。コロナウイルスが付着した手指でドアノブや机、いすなどを触っていると考えると、日々の消毒作業はやはり必要である。

2 アルバイトについてお答えください。

アルバイトは半数近くの生徒がしていると回答している。コロナ禍が影響したのかどうかはこの調査からはわからないが、アルバイトをやめた生徒は0.6割と意外に少なかった。アルバイトを探しているが見つからない生徒も1割ほどいた。

3 アルバイトの目的は何ですか？

複数回答にしているが、おこづかいや趣味と回答している生徒が 9 割おり、アルバイトをすることで自分の生活が潤っているようだ。進学や将来のために計画的に貯蓄をしている生徒が半数。携帯電話代、家計の補助など生活のためにも働いている生徒が半数近くいた。

4 アルバイトの収入はどうになりましたか？

意外にも、コロナ禍で収入が増えた生徒の方が多かった。2 の設問の数字と合致しないが、アルバイトをやめたので収入がなくなったという生徒は 1 割いた。

5 アルバイト先の感染防止対策はどうでしたか？

9 割近くの職場が感染防止対策は万全だったと回答している。
ただし、このアンケートでは、生徒の主観だけで回答しているので、本当に対策が万全だったかどうかまではわからない。
不安だったと回答した約 1 割の生徒は、「密だから」「毎日、外で動き人との会話がある。」
「3密を避けろと言われているのに大人数のことが多い」「マスクだけ」と詳細を記入してくれている。